

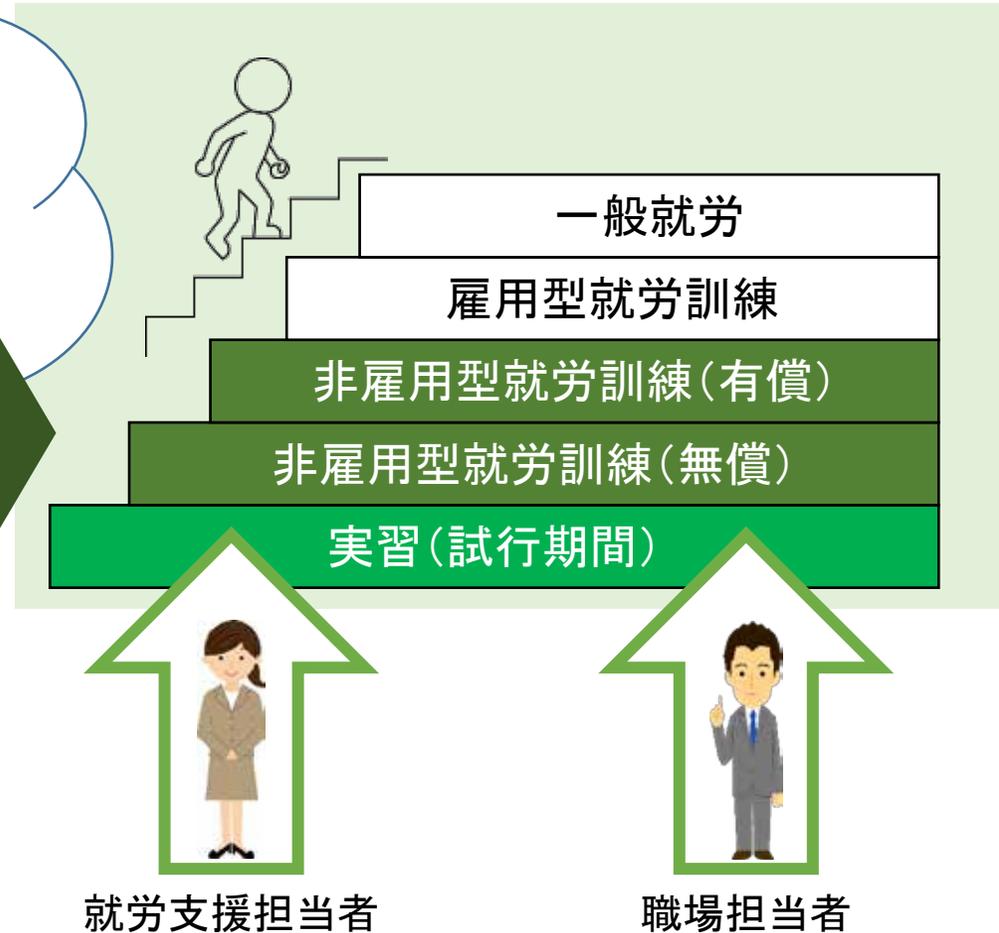
事例報告
中間的就労の取組み

社会福祉法人生活クラブ
岩永 牧人

中間的就労とは

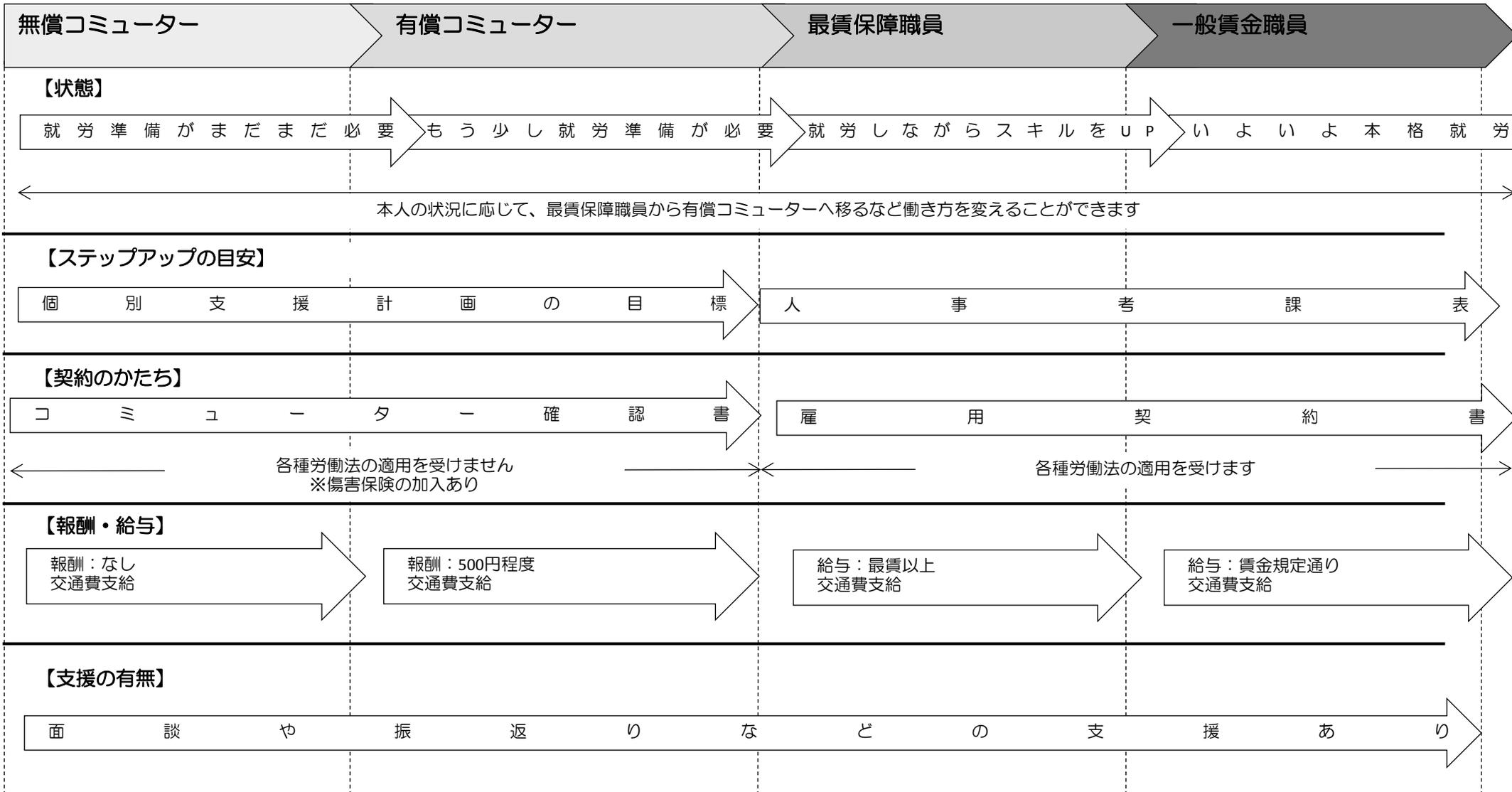
はたらきたいけど...

はたらける自信がない...
やりたいことがわからない...
何十社受けても面接までいかない...
長くはたらけるかどうかわからない...
いつも同じ間違いをしてしまう...
職場で相談できる人がいない...
将来が不安...



ユニバーサル就労について

ユニバーサル就労システム



支援が必要なくなった時点で一般就労へと移行

内部で継続して就労

外部へ就労

ユニバーサル就労システムを導入した職種

- 介護、介護補助
- 事務、事務補助
- 指導員補助（放課後等児童デイ、学童等）
- 保育補助
- 清掃業務
- 洗濯業務
- 厨房業務
- 配送センターの倉庫内作業、事務補助
- 配送業務のトラック添乗

業務分解

業務分解シート【日】《介護》（参考：小規模多機能型居宅介護（通所、泊まり）シフト）

早番（1人）				日勤①（1人）				日勤②（1人）			
7:00～13:00				8:30～17:30				8:30～17:30			
時間	業務名	しごと内容	所要時間	時間	業務名	しごと内容	所要時間	時間	業務名	しごと内容	所要時間
7:00	引継ぎ	夜勤より	5	7:00							
	モーニングケア	整容	10								
		着替え	15								
		口腔ケア ★	10								
		排泄ケア ★	20								
8:00	朝食	茶くみ	10	8:00							
		配下膳	5								
		見守り、声かけ	35								
		食事介助 ★									
		記録	10	30	申し送り						
					送迎	車の運転 ★			送迎	車の運転 ★	
					フロア対応	おしぼり作成	10		フロア対応	おしぼり作成	10
9:00	居室清掃	シーツ交換	30	9:00		迎え				迎え	
		床掃き、拭き				見守り				見守り	
		棚拭き	5			移乗、誘導 ★				移乗、誘導 ★	
		シンク洗面台	5		バイタルチェック	チェック ★	10		バイタルチェック	チェック ★	10
	トイレ清掃	床拭き	5			記録	10			記録	10
		便器掃除	5		体操	環境整備	5		体操	環境整備	5
10:00	フロア清掃	床掃き、拭き	10	10:00		指導 ★				指導 ★	
		棚拭き	5			見守り				見守り	
		テーブル・椅子拭き	5		水分補給	準備、コップ洗い	10		水分補給	準備、コップ洗い	10
	洗濯	布団干し	10			渡し				渡し	
	その他清掃	ゴミ集めや分類	10			記録	5			記録	5
	送迎	車の運転 ★			入浴	湯ため、片づけ	10		入浴	湯ため、片づけ	10
11:00	フロア対応	移動介助 ★		11:00		衣類準備	5			衣類準備	5
		見守り、声かけ				入浴介助 ★	20～30			入浴介助 ★	20～30

<表内色分け>

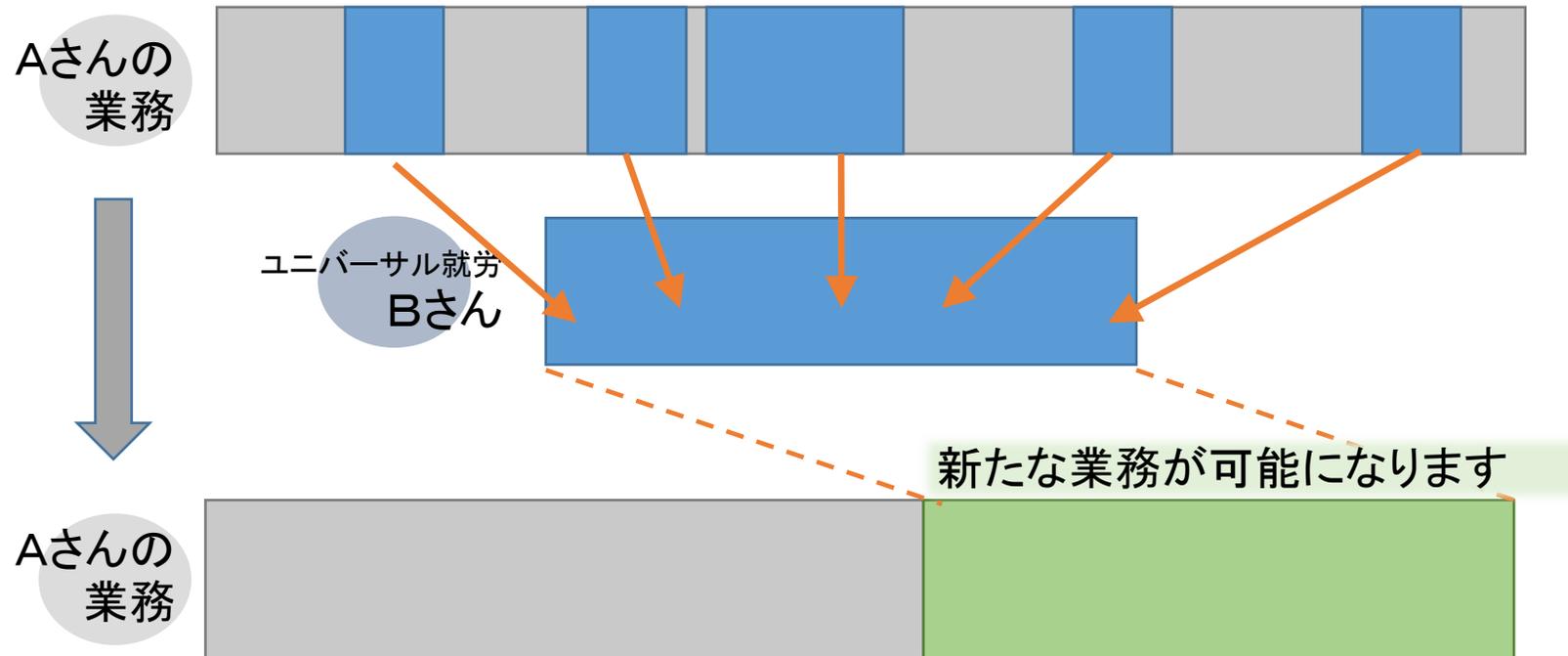
- 人と接するしごと
- 力を使うしごと
- 軽作業
- PC(入力系)
- PC(上記以外)
- PC以外の事務補助、事務作業

★スキル、経験が必要なしごと
※経験が必要な場合あり

業務分解

仕事を分解することで新たな業務が可能になります

- ユニバーサル就労受け入れのために、現在の業務内容をすべて分解する
- 分解した業務のうち、ユニバーサル就労の方に合わせたしごとを見つける



業務分解

業務分解を行うことで職場全体の仕事の質が向上します

■ サービスの質の向上につながった具体例

高齢者施設の清掃など

- ・浴室のイス、カラン等の手入れ、リビングのイスの肘掛の裏側、窓ガラス等を日々の清掃ですること、介護職は介護に専念し事業所の質の向上につながる。

介護の補助

- ・障害者の外出支援など、複数の目と手があることで、より安全な支援を行うことができる。

高齢者施設等でのリビングでの見守り

- ・スタッフがリビング等から離れなければならないとき、見守りの人が目を配ることで利用者の安心感につながり、立ち上がりなどによる転倒事故などが減る。

■ 業務の効率化につながった具体例

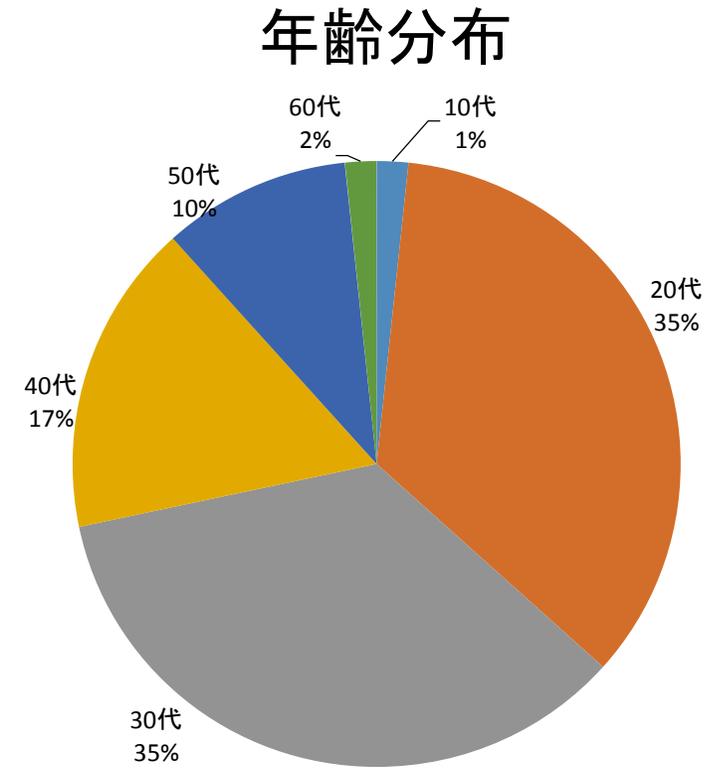
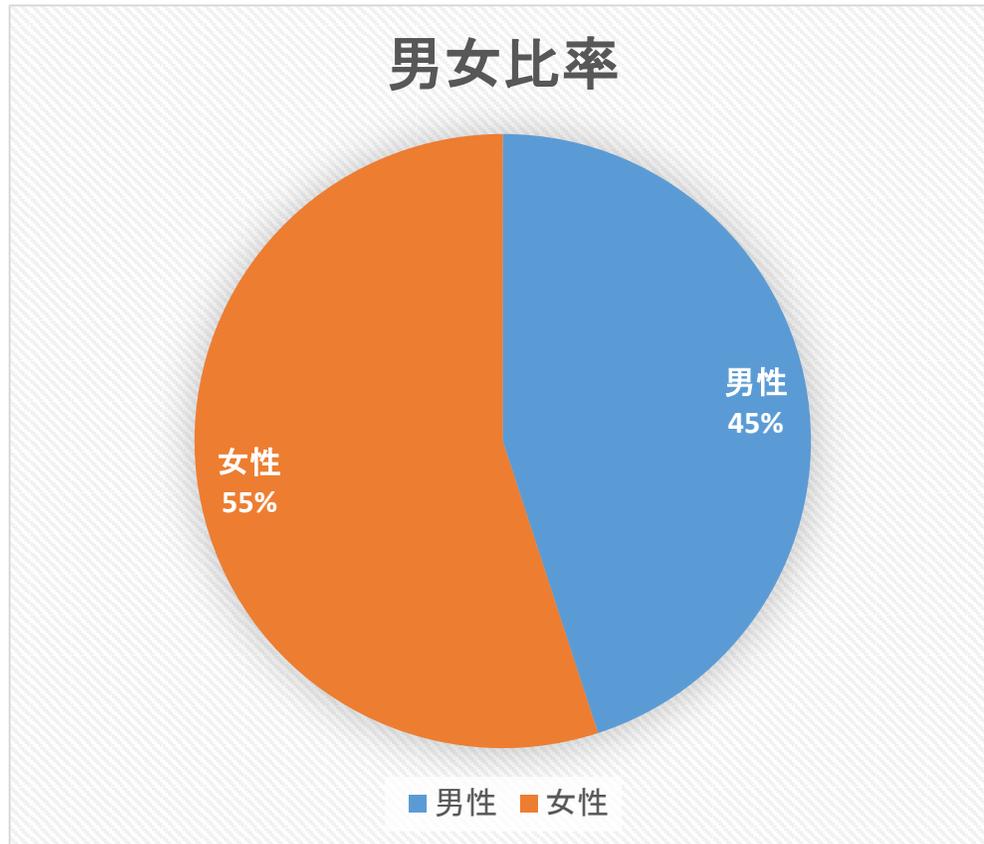
シュレッダー・入力

- ・シュレッダーや封入発送作業、データ入力をまとめて行うことで、事務職などが、それ以外の業務に集中して取り組むことができる。

生協の配送トラック添乗

- ・通常は一人乗車で配達業務を行っているが、添乗職員がいることで配達品の準備などが効率的になり配達時間が大幅に短縮できる。

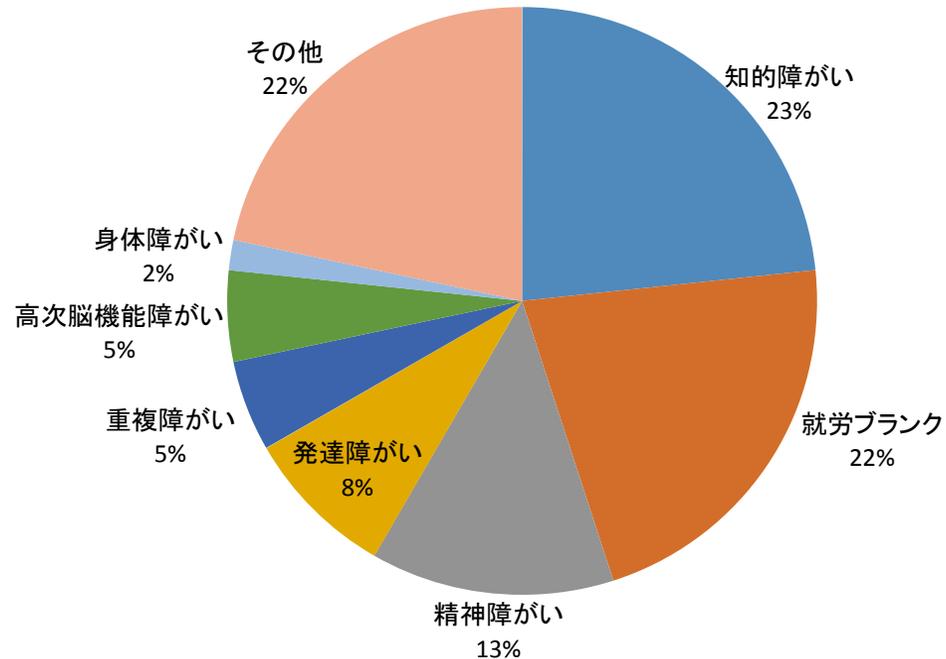
男女比率と年齢分布



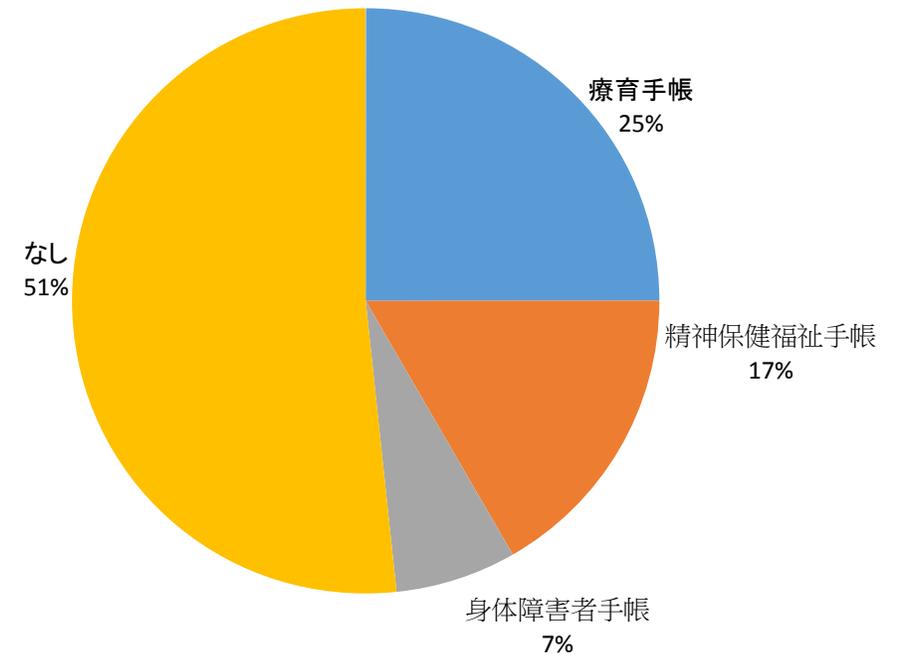
平成29年2月現在(60名)

個別支援の理由と障害者手帳の有無

個別支援の理由



障害者手帳の有無



その他・・・就労未経験、ひきこもり、コミュニケーションが苦手

平成29年2月現在(60名)

ユニバーサル就労の支援状況

ユニバーサル就労のステップ	支援中	支援終了
無償コミューター	0名	5名
有償コミューター	10名	32名
最賃保障職員	29名	30名
一般賃金職員	11名	8名
合計	50名	75名

法人内でユニバーサル就労から一般就労へ移行	8名
ユニバーサル就労から外部へ就労	15名

平成29年12月現在

ユニバーサル就労の支援状況

有償コンピューター継続期間	総数	左記のうち、現在も継続中
～3か月未満	16名	1名
3か月以上～6か月未満	24名	1名
6か月以上～1年未満	14名	0名
1年以上～1年6か月未満	13名	2名
1年6か月以上～2年未満	7名	2名
2年以上～2年6か月未満	7名	2名
2年6か月以上～3年未満	3名	0名
3年以上～	7名	3名
合計	91名	11名

およそ6割が1年以内に
雇用ステップアップしている

認定就労訓練事業について

新たな生活困窮者自立支援制度

包括的な相談支援

◆自立相談支援事業

〈対個人〉

- ・訪問支援等(アウトリーチ)も含め、生活保護に至る前の段階から早期に支援
- ・生活と就労に関する支援員を配置し、ワンストップ型の相談窓口により、情報とサービスの拠点として機能
- ・一人ひとりの状況に応じ自立に向けた支援計画(自立支援計画)を作成

〈対地域〉

- ・地域ネットワークの強化・社会資源の開発など地域づくりも担う

基本は、自立に向けた人的支援を包括的に提供

※ 右記は、法に規定する支援(◆)を中心に記載しているが、これ以外に様々な支援(◇)があることに留意



(事例) 就労訓練事業 (いわゆる中間的就労) の取組

○ これまでも、地域において、一般就労に就くことが難しい者に簡易な就労の場等を提供する独自の取組や、地域の関係者によるネットワーク形成が行われてきており、そうした支援の広がりを求める声は高まってきている。

千葉県「生活クラブ風の村」の「ユニバーサル就労」

【事業概要】「はたらきたいのにはたらきにくいすべての人」を対象に、雇用による就労のほか、「通勤ター」(支援付き就労。必ずしも雇用契約によらない)等の就労形態を提供することで、対象者の同一職場での継続したステップアップを図る。

【実績】平成24年度は、「通勤ター」15名のうち、無償通勤ターは100%のステップアップ、有償通勤ターは、10名中6名が雇用による就労。(ステップアップできなかった4人のうち3名は障害者手帳所持)ユニバーサル就労の総数は、マッチング中を含め77名。

和歌山県一麦会での6次産業を通じた就労支援

【事業概要】障害者の就労支援の一環として、地域農業を中心に6次産業化を推進することで雇用創出を図る中で、ひきこもりの若者等も対象者として受け入れ、支援を実施。

【実績】ひきこもりの者の就労に向けた支援と併せ、地域の耕作放棄地化の歯止めとしても役立っている。

北海道釧路市での就労支援

【事業概要】地域のNPO等の事業者と協力し、有償・無償のボランティア活動、インターンシップ等を通じた生活保護受給者の就労やステップアップを支援。

【実績】平成24年度参加者数:就労移行型インターンシップ16名、公園管理ボランティア55名、作業所ボランティア37名、介護施設等におけるボランティア58名。

とちぎボランティアネットワークの「ワーキングスクールプログラム」

【事業概要】地域の企業80社に協力を依頼し、コーディネーターの支援の下、ひきこもりの若者等が職場体験をできる場を開拓。(現在は「しごとれ(仕事トレーニングプログラム)」として実施)

【実績】平成17年～20年に43名中32名が研修を修了し、就職率71%(正社員6名)。

京都府での就労支援

【事業概要】行政機関、経済・福祉・教育関係の各団体が一体となった「きょうと生活・就労おうえん団」を設立し、中間的就労開拓への協力、ネットワークづくり、賛同者増に向けた広報・啓発を実施。

【実績】「『風のとき』事業」では、京都市内の中小企業が自社の社員食堂をひきこもりの者の就労支援の場として提供するなど、地域での中間的就労の場の開拓が進められている。

法人内の認定就労訓練事業所

千葉市	デイサービスセンター稲毛	船橋市	サポートハウス高根台
	サポートハウス稲毛		小規模多機能ハウス高根台
	あかとんぼ稲毛		デイサービスセンター高根台
	ショートステイ稲毛		保健と福祉の総合相談窓口さーくる
	福祉用具事業部		
佐倉市	ショートステイさくら	流山市	サポートハウス流山
			デイサービスセンター流山
	とんぼ舎さくら	柏市	サポートハウス光ヶ丘
	デイサービスセンターさくら		小規模多機能ハウス光ヶ丘
重心通所さくら		ショートステイ光ヶ丘	
八街市	生活クラブ風の村事業本部	市川市	ライフ&シニアハウス市川
	特養ホーム八街		きなりの街すわだ
	デイサービスセンター八街	成田市	デイサービスセンターなりた
デイサービスセンター東吉田			

8市 25事業所で実施

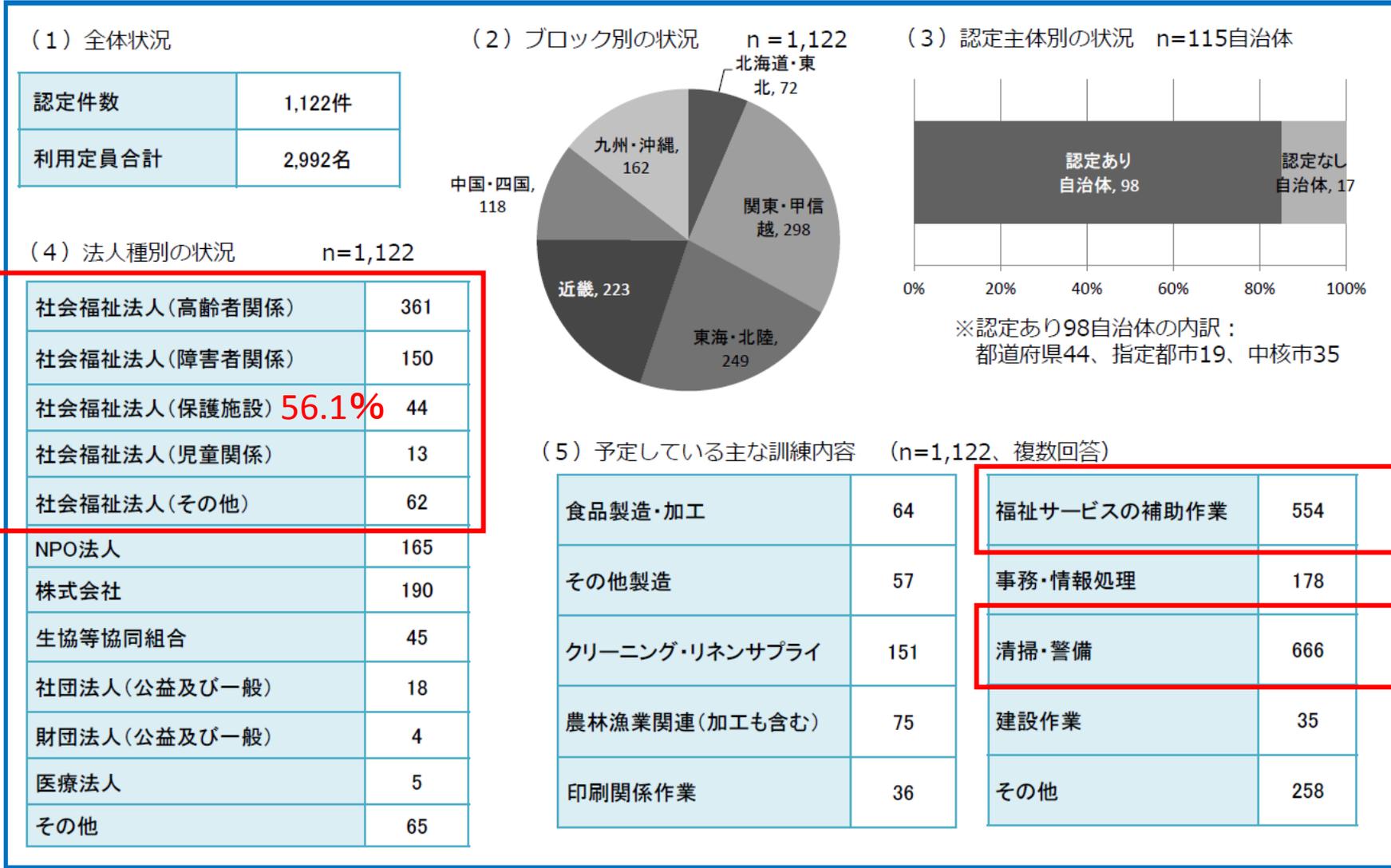
「認定」について

就労訓練事業を実施していくためには県知事もしくは市長から認定される必要があります。

指定都市	中核市	その他の市町村
市長の認定	市長の認定	県知事の認定

どこが認定するかは、事業所の所在地によって異なります。

認定状況（平成29年9月30日時点）



【参考】千葉県における認定就労訓練事業実施状況

	認定事業所数(H29年9月末)	全国順位
千葉県	29	6位／47
千葉市(指定都市)	13	8位／20
船橋市(中核市)	4	11位／48
柏市(中核市)	6	9位／48

都道府県1位・・・大阪府 79 指定都市1位・・・名古屋市 159 中核市1位・・・宮崎市 25

	平成28年度 支援決定数	全国順位
千葉県	11	5位／47
千葉市(指定都市)	2	8位／20
船橋市(中核市)	0	15位／48
柏市(中核市)	0	15位／48

都道府県1位・・・大阪府 35 指定都市1位・・・横浜市 35 中核市1位・・・倉敷市 9

事例紹介

認定就労訓練事業事例

	Aさん・40代男性
支援につながったきっかけ	大学卒業後、就職し10年間勤めたが、体調不良により退職。その際に耳の聞こえが悪くなり受診するも原因不明。障害者手帳には該当しない状態との事であったが、難聴のため補聴器の使用開始。その後、耳の状態は悪いが手帳を所持していない事から、どこに相談をしたら良いかわからず、ひきこもった生活になってしまった。「ブランクがある人も就労相談が出来るから」と、母親が本人を促し、来所。
不安・困りごと	<ul style="list-style-type: none">・難聴の為、自分に合う仕事やどの程度働けるのかわからない・ブランクがある事からも、すぐに働き始める事に不安がある
手帳	なし(難聴のため補聴器使用)
支援内容	<ul style="list-style-type: none">・難聴について、現在の状態を知るために検査を行った ⇒障害者手帳にはぎりぎり該当しない <ul style="list-style-type: none">・本人に合った仕事やどの程度の就労能力があるのかを把握するため、職業評価を実施・ブランク等による就労へ向けた不安軽減のため、就労準備支援事業を利用。事務作業等の就労体験を行った。 ⇒徐々に本人の就労意欲が高まり、体験終了後に就職活動を開始 <ul style="list-style-type: none">・数件の求人へ応募するも全て不採用 ⇒「実は不採用となってほっとしている」と吐露。就職活動を始めるための不安が軽減でき、いざ働こうと思ったものの、まだ不安が残っていた <ul style="list-style-type: none">・就労訓練事業を利用

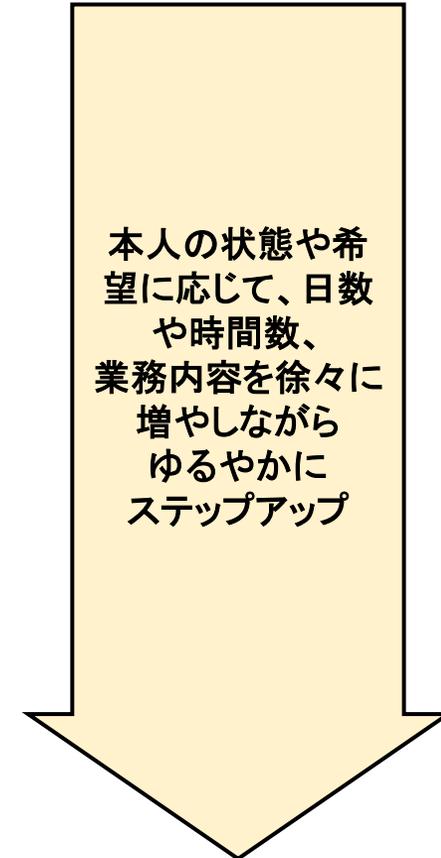
認定就労訓練事業事例

【就労訓練事業所】

生活クラブ生活協同組合 本部(主に『福祉・たすけあい事業部』にて実施)

【勤務日数・時間、賃金(報酬)の経過】

期間	メニュー	勤務日数	勤務時間	賃金(報酬)
平成28年11月21日～	就労訓練事業 (非雇用型)	週3日 (月・水・金曜日)	9:30～12:00 (2.5h)	無償 (交通費のみ)
平成28年12月12日～	就労訓練事業 (非雇用型)	週4日 (月～木曜日)	9:30～12:00 (2.5h)	報酬 500円/h
平成29年1月16日～	就労訓練事業 (非雇用型)	週4日 (月～木曜日)	9:30～12:30 (3.0h)	報酬 500円/h
平成29年2月13日～	就労訓練事業 (非雇用型)	週5日 (月～金曜日)	9:30～12:30 (3.0h)	報酬 500円/h
平成29年3月7日～	就労訓練事業 (雇用型)	週5日 (月～金曜日)	9:30～12:30 (3.0h)	賃金 (848円/h) ※H29.10～ 868円/h



平成29年11月現在、勤務時間数増に向けて挑戦中

認定就労訓練事業事例

【業務内容】

頻度	業務内容
常時	①チラシの折込、封入、梱包
週1回	②共済加入申込用紙送付(宅配便のシール貼り)
月1回	③託児実績集計 ～50件程度 (各センターから送られてくるものを番号順に並べ、紙の内容とPCのデータの内容の照合) ④エッコロ(※)関連入力(毎月末の1週間程度はほぼこの作業) ～100件程度 送られてきた申請用紙を見ながらPCに入力。 組合員コード、日付、申請内容 など... 入力する内容(量)が徐々に増えていった。 ※ 組合員同士のたすけあいの仕組み
随時	⑤職場担当者から、上記以外に随時依頼されたものを実施。 ・エクセルを使用したリストの作成 ・紙ベースの情報をPCにデータ入力 など 内容の複雑さ、量など、本人の能力や状態を見ながら職場担当者が判断して随時仕事を提供。